

申込書の記入例

応募する区分に○をしてください。

応募する住戸に○をし、必要なものは住棟及び住戸番号をご記入ください。

過去3年間※(令和3~5年度)の落選回数を記入してください。

(様式1)

岬町長

令和6年1月4日

募集案内を確認し、入居者資格要件を満たしているため次のとおり申込みます。

応募する区分・住戸に必ず○をつけてください。

なお、この申込書の記載内容が事実と相違するときは、申込みを無効とされても異議のないことを誓約します。

勤務先名・申込者・同居者の氏名には、必ずフリガナを記入してください。入居する世帯全員を記入してください。

ここに記入した方全員が同時に入居できないときは、失格となります。

一般世帯	<input type="checkbox"/>	3LDK(多奈川平野北住宅2001号)
新婚・子育て世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	3LDK(緑ヶ丘住宅1-204号)
	<input type="checkbox"/>	3LDK(多奈川小田平住宅3801号)

落選回数 ※過去3年間
1

整理番号 ※何も記入しないでください

郵便番号は必ず記入してください。

職業等には、必ずどれかに○をしてください。
 ・学生・生徒・児童の方は、5. 学生等に○をし、小学3年、大学2年など具体的に記入してください。
 ・無職の方は、6. 無職に○をしてください。
 ・退職予定の方は、7. その他の()に退職予定と記入してください。
 ・いつから?の欄には、職業等がいつから始まったか、その年月を記入してください。

入居する家族全員を記入してください。ここに記入した方全員が同時に入居できないときは、失格となります。(死亡・出生の場合は再審査を行います。)

郵便番号 599-0303	自宅住所 ①大阪府泉南郡岬町 深日2000番地の1	自宅電話番号 (072)492-0000
フリガナ ミサキマルマルカブシキガイシャ	勤務先 ①大阪府泉南郡岬町 深日000	携帯電話番号 (090)0000-0000
勤務先名 岬〇〇株式会社	勤務先所在地 大阪府 泉南郡 岬町	勤務先電話番号 (072)492-0000
氏名 左:姓 右:名 上段:カナ 下段:漢字 岬太郎	性別 1:男 2:女 ①男	続柄 ①本人
生年月日 年 月 日 6:1 0 5 0 1 3 7	年齢 7	夫が(妻が)いますか? ①有 2. 無
職業等 ①会社員・アルバイト 2. 事業その他 3. 年金受給者 4. 生活保護 5. 学生等() 6. 無職 7. その他()	いつから? H 21年 4月	給与所得者の場合は、年間総収入をこの下に記入してください。
岬花子	②女	②配偶者 3. 子 4. 父 母 5. 祖父母 6. 義父母 7. 孫 8. その他()
岬はるか	②女	③子 1: 大正 2: 昭和 3: 平成 4: 令和

住宅困窮状況について、次の①~⑥の質問にお答えください。(あてはまるものに○印をつけ、必要事項を記入してください。記入については「令和5年度 町営住宅入居者募集(第3回)について」の15~16項を参照ください。)

① 現在お住まいの住宅の同居状況についてお伺いします。 1. 現在、私の世帯(夫婦と子ども)だけの世帯です。 2. 現在、私の世帯の他に、親世帯と同居しています。 3. 現在、私の世帯の他に、親族の世帯と同居しています。 4. 現在、私の世帯の他に、他人の世帯と同居しています。 5. 上のどれにもあてはまりません。詳しく記入してください。 同居状況: ①で「2」「3」「4」に○をつけた方だけにお伺いします。 あなたの世帯の人数と他の世帯の人数を合計すると何人ですか。 人数を記入してください。 _____ 人	② 現在お住まいの住宅についてお伺いします。 ・いま住んでいる住宅の種類に○をつけてください。 1. 本人の持家 2. 親族の持家 ③ 民間賃貸住宅 4. 社宅・寮 5. 府営住宅 6. 公社・公団住宅 7. 市・町・村営住宅 8. 間借り 9. その他() ・住宅の延べ床面積を記入してください。 30 m ² ・室数と、面積を記入してください。 ※玄関、廊下、便所、風呂、洗面所、独立した台所、押入は除いてください。 3室 25 m ² ③現在の月額家賃を記入してください。 55,000円 ※親族の持ち家の場合0円としてください。	④ 申込者と町営住宅に入居しようとする方の中に家屋の所有者が 1. いる ② いない ⑤ 住宅に困っている理由は何ですか。 ① 家賃が高い 2. 住宅が狭い 3. 設備が不十分 ④ 住宅が古くいたんでいる 5. 環境が悪い 6. 災害の危険がある 7. 他の世帯と同居しており、独立したい 8. 通勤に不便 9. 介護等が目的の親族との同居 10. 立退きの要求を受けている 11. その他() ・⑤で「9」に○をつけた方だけにお伺いします。 親族とは誰ですか。()	⑥ 「10」に○をつけた方だけにお伺いします。 1. 裁判所での判決・調停・和解などで、現在の住宅を立退かなければならない。(自己責任を除く) 2. 官公庁の公共事業の為に立退き。 3. その他() ⑥ 仮にあなたが入居予定者となった場合、あなた若しくは同居者に、身体に障がいがある方はおられますか。 1. いる ② いない ・⑥で「1」に○をつけた方だけにお伺いします。 住戸について配慮を希望しますか。 1. はい 2. いいえ	⑦ 裏面の計算後月収額 十 万 千 百 十 円 102500
---	--	--	---	--------------------------------------

各世帯で、どれかに申込別であてはまる全ての番号に○をつけてください。

あなたの世帯の種類は? (次の1.~32.の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。次の1.~32.のいずれにもあてはまらない方は申し込むことができません。)

単身者	1. 60歳以上の方又は35歳以下の者	2. 身体障がい者(1級から4級)	3. 精神障がい者(1級・2級)	4. 精神障がい者(3級)	5. 知的障がい者(A・B1)	6. 知的障がい者(B2)	7. 戦傷病者						
2名以上	8. 原子爆弾被爆者	9. 生活保護被保護者	10. 5年以内の海外引揚者	11. ハンセン病療養所入所者等	12. DV被害者	13. 高齢者世帯	14. 申込み本人が60歳以上であって、かつ、同居者のいずれもが60歳以上又は18歳未満の者である世帯	15. ひとり親世帯	16. 身体障がい者世帯(1級から4級)	17. 身体障がい者世帯(5級から6級)			
	18. 精神障がい者世帯(1級・2級)	19. 精神障がい者世帯(3級)	20. 知的障がい者世帯(A・B1)	21. 知的障がい者世帯(B2)	22. 戦傷病者世帯	23. 原子爆弾被爆者世帯	24. 生活保護被保護者世帯	25. 5年以内の海外引揚者世帯	26. ハンセン病療養所入所者等世帯	27. DV被害者世帯	28. 結核回復者世帯	②9 中学生以下の子どもがいる世帯	30. その他(一般世帯など)

新婚世帯の方は記入してください。 31. 既婚者 婚姻日を記入してください。(令和 年 月 日) 32. 婚約中

裏面も必ず記入してください。

申込世帯全員の収入を確かめて月収額を計算してください。

所得者が2名以上いる場合、及び収入が2種類以上ある所得者は、それぞれの所得の計算方法に従って月収額を計算してください。

給与所得者記入欄

年間総収入金額 (なまえ) 百 十 万 千 百 十 円

A **岬太郎** 3 1 0 0 0 0 0

B

年金所得者記入欄

年間総収入金額 (なまえ) 百 十 万 千 百 十 円

C

D

その他の所得者記入欄

年間所得金額 (なまえ) 百 十 万 千 百 十 円

E

「給与所得者」の年間所得金額の計算方法となりま

「年金所得者」の年間所得金額の計算方法となりま

年間給与所得金額の計算方法

年間総収入金額	年間給与所得金額
ア 651,000円未満	年間給与所得=0
イ 651,000円以上 1,619,000円未満	年間総収入金額-650,000円=年間給与所得
ウ 1,619,000円以上 1,620,000円未満	年間給与所得=969,000円
エ 1,620,000円以上 1,622,000円未満	年間給与所得=970,000円
オ 1,622,000円以上 1,624,000円未満	年間給与所得=972,000円
カ 1,624,000円以上 1,628,000円未満	年間給与所得=974,000円
キ 1,628,000円以上 1,804,000円未満	年間総収入金額を4000で割り、その答えの1円未満を切捨てた後4000を掛け戻し、出た額を右のaにあてはめてください。 $a \times 0.6 = \text{年間給与所得}$
ク 1,804,000円以上 3,604,000円未満	$a \times 0.7 - 180,000 \text{円} = \text{年間給与所得}$
ケ 3,604,000円以上 6,600,000円未満	$a \times 0.8 - 540,000 \text{円} = \text{年間給与所得}$
コ 6,600,000円以上 10,000,000円未満	年間総収入金額 $\times 0.9 - 1,200,000 \text{円} = \text{年間給与所得}$

年間年金所得金額の計算方法

受給者の年齢	年間総収入金額(A)	年間年金所得金額	受給者の年齢	年間総収入金額(A)	年間年金所得金額
65歳以上の方	ア 120万円以下	年間年金所得=0	65歳未満の方	ア 70万円以下	年間年金所得=0
	イ 120万円を超え～330万円以下	(A)-120万円=年間年金所得		イ 70万円を超え～130万円以下	(A)-70万円=年間年金所得
	ウ 330万円を超え～410万円以下	(A) $\times 0.75 - 37 \text{万}5 \text{千円} = \text{年間年金所得}$		ウ 130万円を超え～410万円以下	(A) $\times 0.75 - 37 \text{万}5 \text{千円} = \text{年間年金所得}$
	エ 410万円を超え～770万円以下	(A) $\times 0.85 - 78 \text{万}5 \text{千円} = \text{年間年金所得}$		エ 410万円を超え～770万円以下	(A) $\times 0.85 - 78 \text{万}5 \text{千円} = \text{年間年金所得}$
	オ 770万円を超える方	(A) $\times 0.95 - 155 \text{万}5 \text{千円} = \text{年間年金所得}$		オ 770万円を超える方	(A) $\times 0.95 - 155 \text{万}5 \text{千円} = \text{年間年金所得}$

Aの年間所得金額 百 十 万 千 百 十 円

1 9 9 0 0 0 0 + Bの年間所得金額 百 十 万 千 百 十 円 + Cの年間所得金額 百 十 万 千 百 十 円 + Dの年間所得金額 百 十 万 千 百 十 円 + Eの年間所得金額 百 十 万 千 百 十 円

※その他の所得はこのままです。

控除	① 同居及び扶養親族控除	[入居しようとする親族(本人を除く)および遠隔地扶養親族]
特別控除	② 寡婦控除	[寡婦であって所得のある方]
	③ 老人控除対象配偶者控除	[控除対象配偶者又は扶養親族が70歳以上である場合]
	④ 老人扶養控除	[扶養親族(配偶者を除く)が16歳以上23歳未満である場合]
	⑤ 特定扶養控除	[障がい者がいる場合]
	⑥ 障がい者控除	[特別障がい者がいる場合]
	⑦ 特別障がい者控除	[生計を一にする子がいる場合]
	⑧ ひとり親控除	

※ 特別障がい者とは、身体障がい者手帳が1級又は2級の方か、療育手帳の総合判定がAの方若しくは精神障がい者保健福祉手帳が1級の方をいいます。

控除人数(金額)は所得税法上での控除となります。

A~Eを合計します。

百 十 万 千 百 十 円

1 9 9 0 0 0 0

申込世帯全員の年間総所得金額

百 十 万 千 百 十 円

7 6 0 0 0 0

申込世帯全員の年間総所得金額から左の表の①の控除額及び該当する②~⑦の特別控除額を差し引きましょう。

百 十 万 千 百 十 円

1 2 3 0 0 0 0

÷ 12 =

百 十 万 千 百 十 円

1 0 2 5 0 0

申込世帯の月収額

あなたの申込世帯の月収額が次の収入基準を超えないかどうか確かめて、申込んでください。この収入基準にあてはまらないときは申込むことができません。

申込世帯の計算後の月収額

158,000円以下の方 ※「令和5年度 町営住宅入居者募集(第3回)」についてに記載している「裁量世帯」に該当する方は、計算後の月収額が158,000円を超え、259,000円以下の方でも申し込むことができます。